

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

第57号

2012年9月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

東京都・目黒区合同総合防災訓練

9月1日、防災の日に行われた防災訓練は、駒沢オリンピック公園、林試の森、西小山駅周辺、目黒区役所、目黒駅周辺と多岐に渡り開催されました。途中大粒の雨に見舞われましたが、テーマである「自助・共助」と「連携」を発揮するにはどのようなことが必要か、行政・公共機関・住民・ボランティアの取り組みが各所で見られました。

駒沢オリンピック公園会場 東京都生協連ブース

東京都生協連は駒沢オリンピック公園会場で現地災害対策本部を立ち上げ情報収集・伝達の訓練をしました。パソコンクイズは138名が体験していただき、約500名にパネル展示を見ていただきました。

東京都生協連現地災害対策本部



衛星携帯を使い連絡を取り合いました。



パソコンクイズ



地震クイズに挑戦！子どもも大人も真剣です。



東京都生活文化局長を案内する伊野瀬会長



パネル説明をするCO災ボ幹事



駒沢オリンピック公園会場 その他の訓練あれこれ



積み土のう設置訓練



自衛隊によるカレーの炊き出し訓練

災害用仮設トイレ設置訓練



災害用トイレと書いてある蓋を開け、トイレ用テントと便座を設置し井戸から水を汲む訓練



林試の森公園会場 医療救護活動訓練

医療救護活動訓練に医療生協も参加しました。



災害拠点病院前でトリアージ訓練



トリアージとは災害発生時などに多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送を行うために傷病者の治療優先順位を決定することを言います。左のトリアージタグを使います。



怪我をした被災者に応急処置をする医療救護者

協定にもとづく応急生活物資搬送訓練



発災後に東京都生活文化局は福祉保健局保護課災害援護担当から東京都生協連に対し協定にもとづく応急生活物資の調達と輸送を要請した。それにもとづき東京都生協連は各生協に品目・数量を依頼し、物資集積拠点である目黒区役所総合庁舎に搬入し、東京都へ引き渡す訓練をしました。今回担当はパルシステム東京、生活クラブ生協です。



災害ボランティア体験

CO災ボネットワークメンバー8人は災害ボランティア体験として物資搬送訓練と炊き出し訓練に参加しました。「災害ボランティア、災害ボランティアセンターとは？」の講義や、ボラセン設置・運営などの説明の後にそれぞれの体験を行いました。



東京ボランティア市民活動センター職員 吉田真也氏

1:10 講義 ~東京ボランティア市民活動センター 吉田氏
 10:00 災害ボランティア体験 ← 列玉に分れます
 ① 物資搬送体験 → 本館エントランス
 ② 災害ボラセン運営補助 → 別館3F
 ③ 現地調査 ボラセン3F → 南部地区へ
 ④ 炊き出し 登録 → この会場へ来る
 11:30 非常食の試食体験 ← アルファ化米の試食です
 12:30 振り回り
 13:30 終了予定です
 ういかにしたか？ 今後に生かそうぞろする？



災害ボランティアセンターで登録をしました。

炊き出し訓練



アルファ化米に具財とお湯を入れて20分、よくかき混ぜて出来上がり！



物資搬送体験



小さな箱でも缶詰などは重い！台車などで運ぶと良いね。



運ばれた物資はそれぞれに分別します。



避難所からの要請で避難所ごとに物資を仕分けします。



地元の高校生も一緒に活動



避難所ごとに仕分けした物資をトラックに積み込みます。

~参加者の感想から~

- 今日は参加してよかった。やってみないとわからないですね。他の係りも一通りやったほうが良いと思いました。
- 初めての体験でしたがいろんな事を勉強させてもらいました。
- 今日来るまで講座の内容が全くわからなかった。物資搬送訓練は初めての体験でした。良い経験になりました。
- 色々な立場の方が一緒になって体験をしました。物資搬送体験をし、仕分けなどの流れが理解できました。缶詰等は箱が小さくても重く負担になることもわかりました。今回の気づきを次の機会やボランティアで活かしたい。
- 講義より実際に体験できたことは良い勉強になった。行動に入るときに説明、手順がわかるような説明がほしかったです。